

昨年の寒修行

第三十四世

順境院日攝

合掌 謹賀新年。旧年中は当山護持護法にご尽力を賜り、感謝申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。



圓頓寺
たより

発行所
山鹿市山鹿55
圓頓寺
☎43-2424

さて、先般よりお知らせしていましたが、本堂改修の件になります。

十年來の雨漏りはもちろんのこと、一昨年の台風被害では百枚以上の瓦が落下したり浮いたりし、大量の雨漏りにより清正公様の御厨子などに、多大な被害を受けました。昨年の熊本地震では山鹿市の二次調査において、本堂と鐘楼堂は半壊認定、檀信徒会館も一部損壊の認定を受けるに至りました。

長年の懸案事項でありました本堂改修に向けて、ここに時機至り、一昨年度の護持会総会決議により、昨

年度、護持会総会と建設委員会の承認をへて、昨年師走の臨時護持会総会にて、ありがたくも大改修の満場一致のご承認をいただきましたこと、ここにご報告申し上げます。

本年正月中に趣意書の配布とご寄進の勧募の運びとあいなりました。この大浄業をもつて、来るべき日蓮大聖人のご降誕八百年と、当山開創四百年祭への慶讃記念事業とさせていただきます。

また、二百年に一度の大改修でもあります。そのため工事としては、屋根瓦葺き替えと本工事はもちろんのこと、地盤改良強化と耐震を合わせた大規模なものにもなります。この貴重な現本堂を永代にわたって護持するためにも、檀信徒御

一同のご理解とご協力が無ければ成就是ありえませんが、また老朽の山門と鐘楼堂の修理も併せてとりおこなうことも決議いただきました。本事業と勧募内容の詳細は、配布いたします趣意書に記載する予定です。

震災後の厳しき景況下ではありますが、衷心よりよろしくお願い申し上げます。第であります。

なお、工期は本年四月着工。十四カ月にわたります。その間、檀信徒会館の大広間に仮本堂を安置し、年中行事法要、年忌法事等をとおりおこなうこととなります。檀信徒の皆様方には大変ご不便をおかけすることになります。但し、よりしくご理解のほど改めてお願い申し上げます。

南無妙法蓮華經 再拝

法華經と御遺文の学習

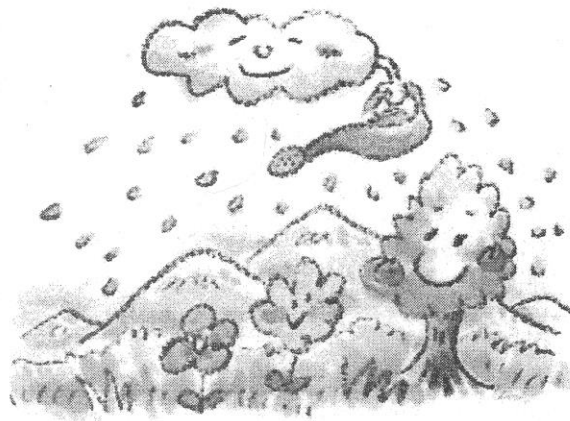
「仏の説く所の法は、譬
えば、大雲の一味の雨を
もって、人の華を潤して、
各、実を成ずることを得
せしめるが如し。」

『薬草喻品第五』

今回、学習します経文は、
法華七喻の一つであります、
「三草一木の喩え」の教え
を表わす箇所になります。
では、「三草一木の喩え」
の教えの内容を説示してみ
ましょう。

雲から降り注ぐ雨は、平
等に大地を潤し、草木を成
長させます。これは、自明
であり自然の摂理でありま
す。
たとえ、草木に大中小の

不同があっても、雨に潤さ
れると、すべて平等に恩恵
を受け育っていきます。



つまり、雨と草木の関係
と同じように、私たちも、
資質能力に差があっても、
仏さまの教えを受けさえす
れば、平等に悟りに入るこ
とが出来るのであります。

さらに、仏さまは常に、
精神の飢渴に苦しんでいる
私たちの心に、慈雨を注ぎ
潤してくれているのであり
ます。私たちは、仏さまの
慈雨に気づかなければなら
ないのです。

そうすれば、雨が平等に
草木を育て、花を咲かせ、
実を成すように、仏さまの
慈悲・智慧・福德を含んだ
慈雨を、私たちは、感得す
ることが出来ます。慈雨を
会得してこそ、葉を茂らせ、
花をむすび、実をほこらせ、
人生の花実（＝成仏）を頂
戴出来るのであります。

「漸々に修学して、悉く
当に成仏すべし。」

『薬草喻品第五』

「三草一木の喩え」の教え
のように、私たちは、それぞ
れ自分の能力資質に応じて、

建設業
砂利採取販売業
コンクリート二次製品製造販売

有限会社 阿蘇品組

代表取締役 阿蘇品 豊

山鹿市中483
電話(0968)44-7815

電気設備工事設計施工

有限会社 中原電機商会

熊本県山鹿市栄町298
電話(0968)43-2087



御先祖年末総供養

仏さまの教えを理解実行してゆけばよいのです。しかも、その修行は一步一步にやるのが大切なのです。

「今日蓮は、巳今当の経文を深くまもり、一経の肝心たる題目を、我も唱え人にも勧む。」

麻の中の蓬、墨うてる木の、自体は正直ならざ

れども、自然に直ぐなるがごとし。

経のままに唱うれば、まがれる心なし。当に知るべし。仏の御心の、我等が身に入せ給はずば唱えがたきか。」

『妙密上人御消息』

日蓮大聖人のお言葉です。大意は、以下の様になります。

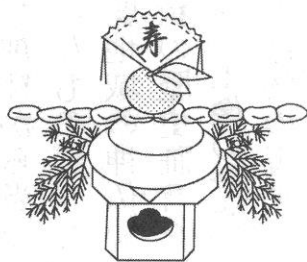
今、私は、過去と現在と未来との、三世の中において、仏さまの最高の教えであります法華経を、深く護持して、法華経の極意であります御題目、南無妙法蓮華経をお唱えし、有縁の人々に御題目信仰を勧めています。私たちは、御経と御題目を一心に拝読すれば、草木が太陽に向かって自然とまっ

すぐに伸びていくように、心は、素直な気持ちになっ

ていきます。ただ一心にお唱えするところが大切であります。た

そうすれば、必ず仏さまの御心を頂戴できるようになるものなのです。

以上が、現代語訳になります。この日蓮大聖人の御言葉のごとく、草木が、日の光にそって自然に育つように、私たちは、仏さまの覚りの光を目指していかなければなりません。つまり、御題目信仰にとって素直な心こそが、最も大切なものなのです。



地域に密着した熊本の保険代理店

アップワード エスト保険

取扱生命保険会社

- アクサ生命
- NKSJひまわり生命
- アメリカンファミリー生命
- 大同生命
- メットライフ生命
- 東京海上日動あんしん生命
- オリックス生命
- ソニー生命
- エヌエヌ生命

取扱損害保険会社

東京海上日動火災保険

〒862-0965 熊本市南区田井島1-3-50 ガレリア2

Tel. 096-223-8105 FAX. 096-223-8106 email:esthoken@royal.ocn.ne.jp

任職特別寄稿

仁王像と村雲日栄尼公

先般の熊本地震に際して、被災されました皆様方々には、心より御見舞申しあげます。また、殉難犠牲者の各霊位に対しましては、当山の五月大祭法要にて御回向申し上げ、併せて、早期復興を御祈念致しました。

今次の地震により、多くの県内本宗寺院も甚大な被害を生じました。当山においても、本堂及び諸堂も半壊の現況にあります。本堂と諸堂のみならず、灯籠や墓石の破損等、種々の被害も重複しています。

被害の中で、一つ残念なものがあります。山門前安置の仁王像(江戸期)の崩落

全壊です。修復不能のものと。万物は諸行無常の理とはいえ、悲しき心情であります。



崩れ落ちた仁王像

この仁王像は、明治維新の神仏分離令によります廃仏毀釈(＝仏法を廃し釈尊の教えを棄却すること)に

際し、大宮神社から当山へ遷座を受けたものだったのです。山鹿地域の神仏分離と廃仏毀釈の歴史証言を宿す、貴重な仁王像の全壊は、地域歴史の遺物の喪失でもあります。このことを鑑みますと、非常に残念な結果になりました。

さて、明治初頭の神仏分離令と廃仏毀釈とは如何なるものなのでしょうか。そもそも、明治以前は神仏習合といひまして、神社では仏さまも祀られ、寺院においても神さまが勧請されておりました。しかし、維新開国後、宗教政策として、国教を有す西洋列強に伍するたために、国教をもたない新政府は、神道を国教として、国家の近代化への方針を決定していくことになりました。この際、西洋列強に模倣し、

生活環境に、やさしい企業

水廻りの事ならすべてOK!

TORAYA SHOKAI

合資会社 とらや商会

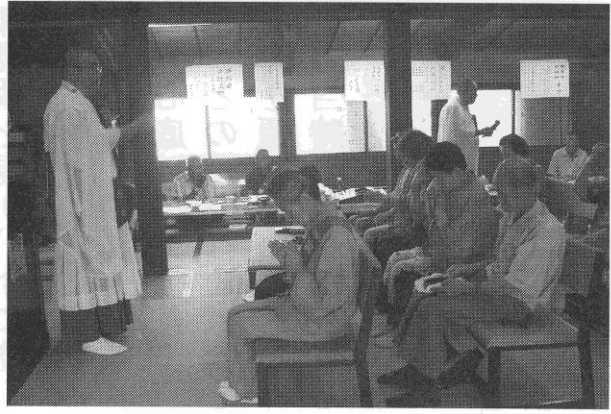
TEL(0968)43-2212 FAX(0968)44-5990

〒861-0532 熊本県山鹿市鹿校通一丁目3番29号

盛文社印刷

山鹿市下町1807
TEL 0968-43-2604
FAX 0968-43-6075

キリスト教の国教化を図る高官も存在しましたが、実現はなりませんでした。何故に神道が選択されたのでしょうか。それは元勳たちが尊王思想をもって、新政府樹立を成したからでしょう。これらの施策は、後の国家神道への大因であります。国教として神道の権威を高めるために、対する仏教への弾圧が行われました。寺



ほうろく灸祈祷

社の仏式神式を峻別し、あまつさえ寺院や仏像を破却し、僧侶の還俗(げんぞく)僧侶になった者が、戒律を堅持する僧侶であることを捨てること)も推奨されました。維新立役の雄藩の鹿児島県、伊勢神宮のおひざ元の三重県等では苛烈を極め、多くの寺院が廃寺となりました。ただ地域により、この運動への迎合には、かなりの差異があり、比較的穏やかなところもあったそうです。これが、神仏分離令と廃仏毀釈のあらましです。

この仏教受難の時代に、毅然として立ち向かわれました日蓮宗高僧のおひとりとして、村雲日栄尼公の御名が挙げられます。村雲日栄尼公とは、日蓮宗唯一の門跡寺院の村雲瑞龍寺第十世、瑞法光院宮日栄尼。伏見

宮邦家親王の第十王女。明治天皇の叔母君あたられます。

「我身命を愛せず。但無上道を惜む」

『勸持品第十三』

新政府の法難の折、法華経金口(こんく)仏の口。転じて、釈尊の説法)をもって立ち向かわれ、他門跡寺院の皇族が相次いで還俗される中、還俗を断固拒絶。門跡に留まられ、仏教、なかならず本宗の護持存続と興隆に邁進されました。また、全国の御親教にも尊き御生涯を捧げられました。皇族尼公としての御立場から、特に女性への教化に御尽力なされ、全国寺院への村雲婦人会設立に多大なる御法功を後世に残されました。

当山にも、明治二十年に



拜む心で尊い品を

梅谷佛具店



仏壇・仏具・寺院用具
寺院納骨堂設計施工

本店

〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9
TEL (092)271-0456 • FAX (092)271-0464

工場

〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4
TEL (092)806-7499 • FAX (092)807-1079

明治二十年十月熊本県下布教の際
「村雲尼公・瑞法院宮日栄尼公」より圓頓寺へ授与された御本尊



御親教を賜り、今に続く村雲婦人会の下種結縁（げしゅけちえん）妙法・お題目を人の心底に植え付けて、仏さまとの縁をむすばせること）を頂戴いたしました。その当時に揮毫賜りました「大曼荼羅御本尊」は恪護（かくご）大切に保管すること）され、今に伝わります。檀信徒会館の大広間の掛軸がそうです。御参拝の折に

は御覧ください。また他に掛軸も一幅ございます。「一点靈光照古今（一点の靈光、古今を照らす）」村雲日栄尼公の掛軸の一行書です。法華経の妙なる光明は、あまねく久遠を照らし出す、という意になります。尼公らしく柔和でもあり、かつ意思の心強さを感じさせる御真筆であります。

「大光普照（大光は普くを照らす）」

『序品第一』

一行書の典拠（てんきよ）言葉や文章などのもとなつたよりどころは、この法華経の文句であり、同意であります。法華経の光明を一切修生へ平等にお届けできる僧侶は、私の理想でもあります。震災の困難期ではありますが、村雲日栄尼公の不屈の御志に習い、また御遺徳に報ずるべく復旧に精進していく所存であります。



航空券・JR・個人旅行・団体旅行

株式会社 **ワールド観光**

TEL 0968-72-5656

玉名市中尾426-3



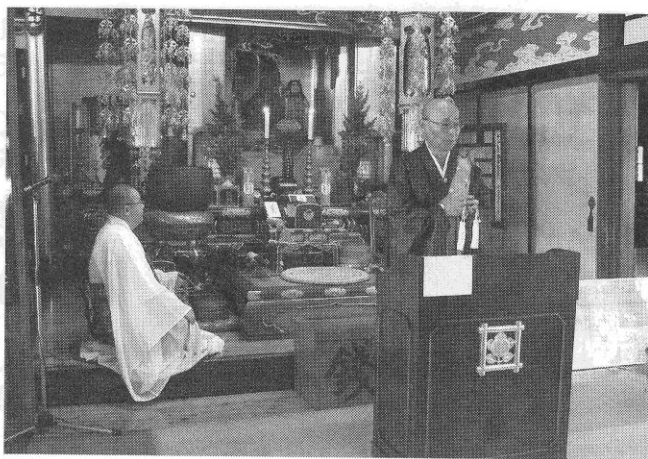
ほうろく灸を頭、肩、膝に

平成二十八年土用丑の日、
ことのほか厳しい暑さが続
いている七月三十日、ほう
ろく灸祈祷、お盆お施餓鬼
先祖供養法要が行われまし
た。

院首・英知上人が法話

お盆お施餓鬼先祖供養法要

受付時間前にお寺に着き
ました。が、すでにほうろく
灸の準備は済み、多くの方
がほうろく灸祈祷会へ申込
んでおられました。午前九
時三十分から第一回目の祈
禱会が、英人上人の秘法に
より始まりました。申し込
まれた方が頭、肩、腰、膝
などにほうろく灸を当てて、
痛みがやわらぎ、頭痛封じ
を祈っておられました。
ほうろく灸祈祷会が終わ
り、打ち鳴らされた半鐘を
合図に大太鼓、団扇太鼓が
叩かれ、お題目の中、院首
英知上人が入堂、法話席に
着かれました。



『わが高祖日蓮大聖人 乙
御前御消息にのたまわく
いよいよ強盛の御志あるべ
し 氷は水より出でたれど
も水よりすさまじ 青き事
は藍より出でたれども か
さぬれば藍よりも色まさる
同じ法華経にてはをはすれ
ども志をかさぬれば 他人
よりも色まさり 利生ある
べきものなり 南無妙法蓮



郷土に生まれて味ひとすじ

仏・祝会席・鉢盛・寿司



プラザ店 ☎ 44-4743 ☎ 43-1739
中町店 ☎ 44-0055
仕出部 ☎ 44-5804

『華経』と読み上げられ、暑い中先祖、菩提をともらう法要へ参詣に御礼を申し上げられ、平成二十二年、当山十三世を退いて三十四世英人上人にバトンタッチして、皆様の御前で話をする機会をありがたく受け止めていられる。と述べられ、法話を始められました。

信心、信仰に励みなさい

乙御前へのお手紙の中で、信心を重ねていけば他人より利生、ご利益、ご加護がある。青は色を重ねていけば藍より色が勝るなど、日蓮大聖人は信心、信仰に励んでいきなさいと示された。と説明されました。

異体同心を實踐

お寺参りをして施餓鬼法要、先祖の遺徳を偲んで供養する人格者にならなければなりません。南無妙法蓮



華経、お題目に命を捧げますという祈りを行っているのが、皆様の姿です。一人の祈りだけでなく、大勢の人が心をひとつにしてお互いに触れあつて感応していくことを、大聖人は「異体同心」と表わされました。常明山・圓頓寺が山鹿の町々に響きわたるお題目を唱えていた、ただけの道ではなからうかと思ひます。

御先祖・圓頓寺を守る

圓頓寺は四〇〇年の歴史があります。お題目拡張の拠点としてご先祖の皆様が

圓頓寺を守り保つてこられて、今日があります。先祖の方々は未来につながる子孫に対して、その時代徳を植えてこられた。次の代に徳が沢山あつても子孫が食いつぶせば、その家は衰微します。

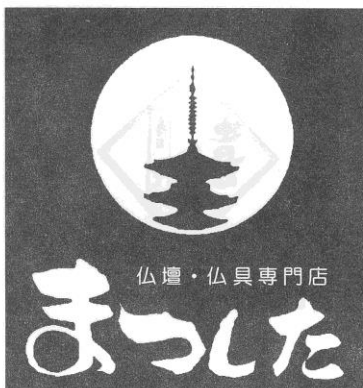
皆様の徳の行い

お釈迦さまは、「薄徳の人は善根を植えず」と予言されました。徳が薄い人は本当は徳を植えなさい。徳は身を投げ出すこと。自らの大切なものを捧げること。亡き人、亡き慰霊に追善供養という大切なものを捧げること。徳のひとつ。前日から暑い中法要のために掃除、炊事の手伝い・当番の奉仕も徳のひとつです。

御先祖の思いで建立

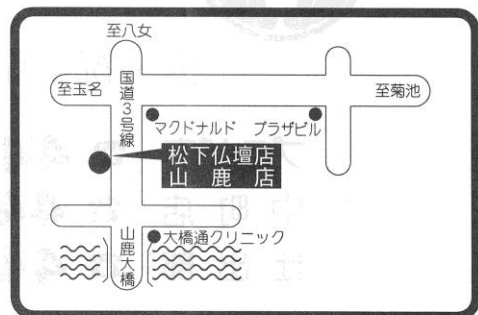
熊本地震で圓頓寺も大きな被害を受けました。当山

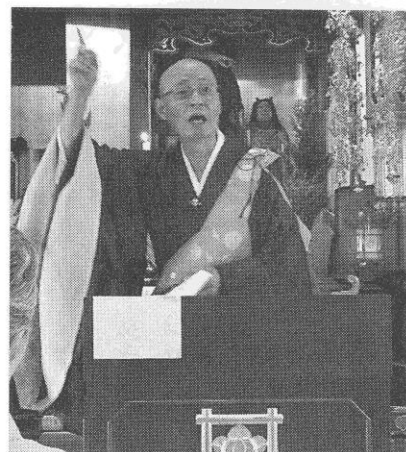
●仏具のご注文がございましたら、多少にかゝらず配達いたします



株式会社 松下仏壇店

- 大牟田本店**
大牟田市上町2丁目2 上官通り
☎0944-56-3675
- 熊本店**
熊本市中央区上水前寺1-12
-12 (東バイパス熊工前)
☎096-384-5666
- 玉名店**
玉名市中平畑1832 玉名高校入口
☎09687-4-4840
- 山鹿店**
山鹿市大橋通り404
☎0968-43-5665





四〇〇年の歴史の中で、一八〇年前十九年間かけて建立した歴史があります。一八〇年の間本堂が持ちこたえてくれました。歴史がある本堂、立派な彫刻を施した寺院は県下にあります。ご先祖が大変な思いで建立されました。私たちの代で子孫に残していく。護持会総会で改修を決議していただき、建設委員会の立ち上げも決議いただきました。

諸天善神の御加護

圓頓寺たより七十号の住職挨拶で、熊本地震で被災

された皆様にお見舞いを申し上げ、当山は倒壊を免れたが、市役所が二次調査したところ歪みがあり、半壊と判定されました。本堂、鐘突き堂、山門、墓地と被害を受けたが、倒壊を免れたのは諸天善神のご加護であると素直に受けています。

山鹿城主一族を供養

当山は、寛永元年(一六二四)に創建されました。本妙寺様の城北の霊場として建てられました。お題目を弘める拠点。三十四代の上人の歴史がある由緒あるお寺であります。最近、他宗門の人や観光の方のお参りがあります。山鹿城主・山鹿重安公や一族を供養する石碑、狩野洞容の毘沙門天板碑を安置しており、お参りの時は御開帳しています。

狩野洞容は細川藩お抱え

の絵師で、本堂天井の墨絵「龍神絵図」も描いています。龍は火災から守る神様です。

皇族・村雲日栄親下

明治から昭和初期にかけては、皇族の村雲日栄親下、華族九条家の村雲日浄親下が御来寺いただきました。

村雲婦人会は全国に設立されました。お稚児さんの写真には瀬口婦人会会長さんも写っております。時代時代の皆様のご支援によって成り立って、開創四〇〇年を平成三十六年に迎えます。慶讃事業として、本堂改修事業を進めてまいります。

三宝尊御本尊

三宝尊御本尊は元文五年(二七四〇)、第十二世・恵光院日曜上人の代に開眼供養されました。当山檀越の木下円了さん、久留米屋市右衛門さん、茶屋佐右衛門

この街と生きていく
face to face

熊本第一信用金庫 山鹿支店

〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿1616-7

TEL 0968-44-4125

さんが呼びかけて奉安されました。



大聖人御尊像、四菩薩、四天王

日蓮大聖人御尊像

大聖人御尊像は、善行院日助上人の作で、①本行寺、②寿量寺、③妙立寺、④妙体寺、⑤圓頓寺に奉安されました。この御尊像の中に、法華経一部経が納められています。

法華経一部経

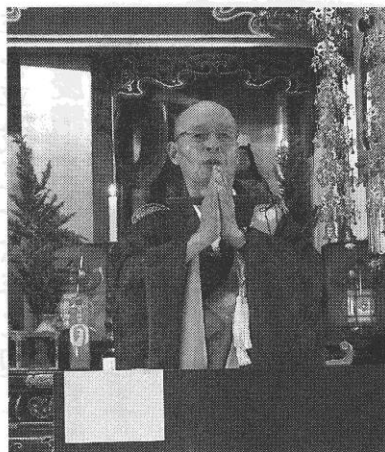
法華経一部経は、一部読

まれないところがあります。が、四菩薩が日蓮大聖人の両脇に、四天王は四隅に安置されていることが書かれ、内陣、曼陀羅を守っている神様です。(上の写真をご参照ください)

修行・精進を

お渡しした資料で当山の由緒、沿革を確認していただきたい。山鹿氏一族の供養碑や当山の故ある歴史をわきまえて、深く確認していただければと思います。日々の修行「読誦解説」、最後に心静かに写経することが修行、精進していただきたい。と話され、『我が此の土は安穩にして、天人常に充滿せり。園林諸の堂閣、種種の宝を以て莊嚴し、宝樹華果多くして、衆生の遊樂する所なり。南無妙法蓮華経、南無妙法蓮華経』と

(自我偈)を読まれ、法話を終わられました。



本堂改修に向けて

法話後、所用の為欠席の栗原会長に代わって原総代さんが、「暑い中のお参りに御礼を申し上げます。圓頓寺は本堂を改修しなければいけません。七月二十三日、元の部材を使って改修が終わった八代市の光林寺、新築で棟上げが終わった人吉市の永国寺を見学しました。圓頓寺は彫刻等も素晴らしい。皆様にお世話になります。よろしくお願いします。

モニーホール

山鹿
天龍会館

宮川葬祭 TEL (0968) 43-2211

フリーダイヤル 0120-45-0948

TEL (0968) 44-0444